

# 不況下における21年度以降の財政見直しについて

村田 安男 議員



**Q** 不況による税収減により、厳しい財政運営が求められると思うが。

**A** 町長 玉村中学校の建設など大型事業が続くが、財政調整基金（町の貯金の取り崩しや町債（町の借金）の発行により乗り切りたい。

**Q** 平成20年度末の財政調整基金残高は26億円だった。23年度末では。

**A** 町長 14億円程度まで落ち込むことが想定される。

**Q** 人口減は税収の落ち込みにつながる。人口増対策を進めよ。

**A** 町長 児童福祉の充実を図るとともに、企業誘致を積極的に行い、主財源の安定化を図りたい。

**Q** 厳しい財政下、費用対効果を検証する必要があるが。

**A** 町長 事業の必要性、緊急度を精査する。

**Q** 高齢化が進み、心臓病、脳血管疾患などの増加が危惧される。救急搬送体制はどうなっているか。病院到着時間が5年前より11分も増加しているが。

**A** 町長 かかりつけの病院がある場合はそこに、ない場合は患者の症状を見て病院を選定している。「ベッド満床」「手術中」などの理由で断られるケースが多く、特に伊勢崎管内では整形外科、小児科に時間を要する場合がある。

**Q** 公的医療機関に対する公費負担をしていないのは、県下で玉村町だけである。住民不安を生じないよう万全を期せ。

**A** 町長 県や関係医療機関に働きかけ、万全を期したい。

**Q** 354バイパスが平成27年度に部分開通するが、通学路の安全対策は。

**A** 町長 信号機の設定などを図り、安心して登下校ができるよう、関係機関へ要望する。



子どもたちのために充実した保育所運営を

# ドクターヘリ・資源ごみの拠点回収について

浅見 たけし 議員



**Q** 玉村町内救急車出動回数は平成19年度978回、うち心臓疾患出動は49件、脳疾患出動は108件であり、通報から病院到着までの時間は、平均32・6分かかる。30分が生死を分けると言われている中、今年2月18日から運用が開始されたドクターヘリの最大の利点は平均15・7分で治療を開始できること

とであり、死亡率を約40%削減、重度後遺症を10%以上削減することができると。当町の離着陸場は、現在「総合運動公園」「東部スポーツ広場公園」の2カ所であり、新たに「北部公園」を申請している。いざという時にはもっとたくさんの離着陸場が必要だと思いが、各小中学校の校庭などを利用できないのか。

**A** 町長 離着陸場の指定についても、地域を所管する伊勢崎消防本部

との協議で決定されるので、要望していききたい。

**Q** 平成19年度に玉村町で排出されたごみは約1万5000トンで、そのうちの1万3000トンは可燃ごみだった。中でも多いのは紙・布類で、全体の55・4%を占めている。燃やしてしまえばただのごみ、分別すれば立派な資源、限りある資源を有効に使うために、雑古紙の回収にどのように取り組んでいくのか。



厚生労働省 群馬県ドクターヘリ導入促進事業のポスター

**A** 町長 モデル地区の状況を見極めながら、地区数の増加を検討するとともに、雑古紙を分別収集の1品目に加え、実施したいと考えている。

# 介護保険料値上げと農業共済事業について

齊藤 嘉和 議員



**Q** 介護保険料の値上げについては、3月4日の本会議で、1号被保険者の基準額が月額3900円に決まった。2号被保険者の介護納付金分についてはどうなるか。

**A** 町長 平成21年度は、国民健康保険特別会計の基金を取り崩して不足予算に充当し、値上げはしない。

**Q** 国保特別会計の基金の状況はどうか。

**A** 住民課長 基金の残高は平成19年度決算で1億7000万円。21年度は1億円の取り崩しを予定している。

**Q** 国保税については、平成20年度において後期高齢者支援金分が組み込まれ、実質医療給付費分が減額された。今後、国保税はどうなるか。

**A** 町長 今後の国保運営を考えると、厳し

い予算の状況が予想される。平成22年度には、国保の値上げも視野に入れて考えていく必要がある。

**Q** 農業共済事業は平成22年4月1日に県下で1本化されるが、農家が支払う賦課金の賦課率はどうなるか。

**A** 町長 現在調整中だが、検討案としては水稲は1アール当たり34円が38円に、麦は24円が16円程度となる予定である。

**Q** 全国2段階制になることにより、共済金の支払い時期の短縮が図れないか。

**A** 町長 JAからの出荷データや、品質の格付けの時期。また、県下での集計後の異常災害の適用等、国との調整期間は現在とほぼ同じと思われる。よって、スピードアップは難しいと考えている。



老人福祉センターでの茶話会

# 景観と環境行政について

島田 榮一 議員



**Q** 下茂木の滝川の桜並木は、玉村町きつての桜の名所になりつつある。地域のボランティアに任せるだけでなく、町はしっかりサポートすべきであるがどうか。

**A** 町長 作業をしていただいている方の高齢化等に伴い、管理が大変との話を聞いている。下茂木区と協議していきたい。

**Q** 下茂木の桜並木及び川井沼の釣り場は、今後格好の散策スポットになる。親水公園等に整備してはどうか。

**A** 町長 第5次総合計画の中で検討していきたい。

**Q** 滝川桜の会は、町づくりの一環として滝川に桜を植え、将来は名所にしたいとの住民発議により発足したものである。町はしっかりサポートすべきであるが。

**A** 町長 滝川桜の会は、河川管理者との協議をはじめ、多くの課題をクリアして今日に至っている。作業が適正に行えるようサポートしていきたい。

**Q** 五料のグラウンドゴルフ場の着工が大幅に遅れている。平成21年度に間違いなくできるのか。

**A** 町長 稀少動物であるオオタカの生息調査のために遅れてしまったが、河川占用申請が許可となり次第着工したい。



滝川沿いの桜並木（下茂木）